

# 山形県国際交流センター 外国人相談窓口通信

平成26年6月発行

(公財)山形県国際交流協会

山形県国際交流センターでは、県内在住の外国人のために、日常生活に関する困りごとなどについて、気軽に母国語で相談できる「外国人相談窓口」を開設しております。研修会などの取り組みを含め、平成25年度の相談結果についてお知らせいたします。

## 平成25年度 外国人相談窓口活動状況報告

### ■相談員研修会の開催■

相談員研修会を2回開催いたしました。

第1回目は、平成25年6月12日(水)に、「各相談窓口の現況報告および情報交換」をテーマに開催し、相談の傾向や事例、各相談窓口が抱えている課題などについて情報交換を行いました。

第2回目は、11月1日(金)に、『外国につながる子どもたちのよりよい育ちを実現するために～子どもの「ことば」と「こころ」を考える～』をテーマに、近畿大学日本語教育センターの高橋朋子さんを講師に開催、外国につながる子どもたちの現状、支援に必要な知識や新しい母語教育のかたちなどを学びました。その後、多様な専門を持つ参加者同士のグループで、情報交換及び情報の共有を図りました。

### ■「話題あれこれ話のサロン」の開催■

平成26年1月25日(土)に、在住外国人やその家族などを対象とした、学びと交流の場「話題あれこれ話のサロン」を開催しました。具体的には、「子育てと家庭の中の人間関係」をテーマに、ゲストスピーカーの黒沼幸善さん、大沼淑子さんから体験談を話していただき、参加者の共通する悩みや日頃の思いについて語り合いました。さらに、アドバイザーの楊詠麗さん、「山形の姑の代表」として、阿部敬子さんから具体的なアドバイスを頂くなど、和気あいあいとしたサロンとなりました。

## 外国人相談窓口 平成25年度の状況から

平成25年度に受けた相談件数は435件で、24年度の462件に比べ、マイナス27件、前年度比94.2%となっています。

### ◆相談者の国別傾向

外国人からの相談は226件で全体の52.0%(前年度比9.9ポイント減)、日本人からの相談は201件で全体の46.2%(前年比9.6増)、国籍不明が8件で1.8%(同0.3増)でした。

外国人からの相談を国別にみると、ブラジル人からの相談は相談全体の15.6%(同6.5減)、中国人12.4%(同0.7増)、韓国人10.6%(同6.9減)、フィリピン人8.7%(同2.2増)、その他の国々の方は4.6%(同0.5増)となっています。県内のブラジル人人口は昨年同様少ないのですが、繰り返し相談される複数のリピーターの方が、相談件数を押し上げました。

### ◆言語別の傾向

日本語での相談は286件で全体の65.7%(前年度比9.4ポイント増)、中国語は39件で9.0%(同1.4減)、ポルトガル語での相談は37件で8.5%(同6.2減)、韓国語は32件で7.4%(同2.8減)、タガログ語が22件で5.1%(同0.5%減)、英語は19件で4.4%(同2.2増)、その他の言語が0件(同0.6減)の構成となっています。

### ◆相談の形態・男女比

電話での相談は55.9%(対前年度比1.0ポイント減)、面接が39.8%(同1.7増)でした。ま

たEメールによる相談は4、4%（同0、1減）、手紙による相談0（同0、4減）でした。

相談者の男女比を見ると、女性の相談者が70、8%（対前年度比6、5ポイント減）、男性が29、2%（同6、5増）となり、前年に比べ男性からの相談が増えました。

◆過去5年間に当センターが受けた相談の項目別相談件数の推移 (件)

項目	H21	H22	H23	H24	H25
1. 通訳・翻訳・語学学習等	37	56	54	57	53
2. 出入国・在留資格等	94	60	65	65	67
3. 家庭・戸籍関係	29	29	33	33	29
4. 社会保障諸制度	10	28	21	20	24
5. 医療関係	8	14	12	10	5
6. 労働・就職	8	5	6	27	10
7. 教育関係	13	6	8	23	31
8. 交通・運転免許等	6	17	9	4	3
9. 生活一般	121	134	155	180	158
10. その他の紹介・照会等	48	45	57	43	55
合計	374	394	420	462	435

◆相談項目別事例

① 通訳・語学学習等(53件 相談全体の12、2%)

緊急時の通訳対応や、電話(3者電話を含む)による通訳、翻訳依頼については他の団体を紹介しました。また、日本語教室については、相談者のニーズにあわせて地域の日本語教室等を紹介しました。

② 出入国・在留資格等(67件 15、4%)

在留期間の更新、在留カードに関する問い合わせ、離婚後の在留に関する情報収集や、永住に関する相談等があり、外国人在留総合インフォメーションセンターや仙台入国管理局を紹介しました。

③ 家庭・戸籍関係(29件 6、7%)

夫婦間のトラブル、家族の無理解などについては、お話をよくお聞きしてアドバイスをしたり、子どもの国籍選択等の相談については、市町村役場への届け出の必要性について情報提供をしました。

④ 社会保障諸制度(24件 5、5%)

年金に関する相談(受給資格、受給年齢、遺族年金、脱退一時金など)があり、市町村や日本年金機構を紹介しました。また、住民税、外国につながる老親の介護の問題などが寄せられ、専門機関につながりました。

⑤ 医療関係(5件 1、1%)

英語での対応が可能な病院の紹介や、薬に関する相談などに対応しました。

⑥ 労働・就職(10件 2、3%)

求職相談はハローワークを紹介しました。労働条件や労災の相談については、該当する労働基準監督署を紹介しました。また、職場の人間関係に悩む相談が複数あり、お話を聞いてアドバイスをしました。

⑦ 教育関係(31件 7、1%)

中卒認定試験の情報提供並びに高校進学について継続的に相談を受けました。また、外国につながる児童生徒の日本語学習や進学については、山形子どもサポートネットと連携しながら対応しました。

⑧ 交通・運転免許等(3件 0、7%)

運転免許取得の情報提供、外国の運転免許証の切替え手続等は県総合交通安全センターを紹介しました。

⑨ 生活一般(158件 36、3%)

「母国語で話を聞いてほしい」「経過報告・結果報告」「不安な思い」を聞くなど、傾聴し、話し相手にな

る相談が多くありました。

⑩ その他の紹介・照会等(55件 12.6%)

当センター相談業務の問合せ、法テラス、無料弁護士相談や専門相談窓口の紹介などがありました。

全体の特徴としては、例年同様リピーターが多いことが挙げられます。解決に時間がかかり、不安からか何度も相談に来られる方や、途中経過を報告することで、心を整理される方もおられました。また、25年度は、山形済生病院の無料医療相談会への協力を行うなど、新たな取り組みも行いました。

**平成26年度 相談員研修会について**

今年度第1回目の外国人相談窓口相談員研修会を6月26日(木)に行います。他県の相談員の方も参加し、広域での連携を作りながら、「相続・成年後見制度に関する講話」と、各相談窓口の情報交換を行います。2回目の研修会は11月29日(土)、長崎県立大学の季節子先生をお招きしての研修会を計画中です。ぜひ多くの方々にご参加いただきたいと考えています。

**山形県の外国人人口の概況**

(数字は山形県商工労働観光部経済交流課国際室による)

山形県内の平成25年12月末における外国人人口は65カ国6,031人で、前年(平成24年)の6,106人から75人(1.2%)の減となり、平成17年の7,703人をピークに8年連続して減少しました。

**国籍別の在留状況**

**市町村別の在留状況 25年12月末**

国籍	登録者数(人)		構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増 減率(%)	市町村名	登録者数 (人)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H24年	H25年							
中国	2,669	2,642	43.8	△27	△1.0	山形市	1,067	△21	△1.9
韓国・朝鮮	1,836	1,743	28.9	△93	△5.1	米沢市	642	28	4.6
フィリピン	664	662	11.0	△2	△0.3	鶴岡市	620	11	1.8
ベトナム	211	244	4.0	33	15.6	酒田市	501	15	3.1
米国	118	120	2.0	2	1.7	新庄市	317	△23	△6.8
タイ	81	80	1.3	△1	△1.2	天童市	314	△2	△0.6
ブラジル	75	74	1.2	△1	△1.3	寒河江市	269	△5	△1.8
インドネシア	64	74	1.2	10	15.6	長井市	230	13	6.0
マレーシア	59	53	0.9	△6	△10.2	東根市	221	△10	△4.3
						村山市	185	5	2.8
その他の国々	329	339	5.6	10	3.0	他の市町村	1,665	△86	△4.9
総数	6,106	6,031	100	△75	△1.2		6,031	△75	△1.2

**国別の状況**

中国(台湾を含む)が2,642人で全体の43.8%を占め、以下韓国・朝鮮1,743人(28.9%)、フィリピン662人(11.0%)、ベトナム244人(4.0%)と続いており、これらアジア4カ国だけで全体の87.7%を占めています。その他、米国120人(2.0%)、タイ80人(1.3%)、ブラジルとマレーシアが各74人(各1.2%)と続いています。

**男女別の状況**

6,031人のうち、女性は4,698人(77.9%で対前年比0.2ポイント減)、男性は1,333人(22.1%同0.2増)、となっています。外国人人口が多いアジアの4カ国については、女性の占める割合が中国78.0%、韓国・朝鮮85.4%、フィリピン93.5%、ベトナム88.1%となっています。

**在留資格別の状況**

「永住者」が3,091人で全体の51.3%を占め、以下「技能実習」1,141人(18.9%)、「日本人の配偶者等」536人(8.9%)、「特別永住者」318人(5.3%)、「留学」252人(4.2%)、「定住者」

175人(2.9%)などとなっています。「永住者」の外国人は県内全市町村に在住しています。平成24年12月末との主な比較では、「技能実習」が65人増加しており、「日本人の配偶者等」が77人減少しています。

### 在留資格別在留状況

在留資格	外国人登録者数(人)			構成比 (%)	対前年比 (人)	対前年増減率 (%)
	H23年	H24年	H25年			
永住者	3,087	3,102	3,091	51.3	△11	△0.4
技能実習	1,029	1,076	1,141	18.9	65	6.0
日本人の配偶者等	765	613	536	8.9	△77	△12.6
特別永住者	344	331	318	5.3	△13	△3.9
留学	267	252	252	4.2	0	0
定住者	249	199	175	2.9	△24	12.1
家族滞在	140	123	129	2.1	6	4.9
教育	100	86	87	1.4	1	1.2
技能	55	66	77	1.3	11	16.7
人文知識 国際業務	65	64	63	1.0	△1	△1.6
技術	35	29	30	0.5	1	3.4
永住者の配偶者等	37	31	27	0.4	△4	△12.9
上記以外の在留資格	157	134	105	1.7	△29	△21.6
総数	6,330	6,106	6,031	100	△75	△1.2

### 全国の外国人登録者の概況

平成24年末現在における国内の在留外国人数(短期滞在等を除く)は、203万3,656人で、前年に比べ1万3,693人(0.7%)減少しました。また、在留外国人のわが国の総人口に占める割合は、わが国の総人口1億2,751万人の1.59%となり、5年前(平成19年末)の206万9,065人に比べ、3万5,409人(1.7%)減少している。

多数を占める、出身国籍別・地域別登録者数は次表のとおりとなっています。

国籍	H24年(人)	構成比(%)	対前年比増減	対前年増減率(%)	地域	H24年(人)	構成比(%)
中国	675,328	33.2	6,684	1.0	アジア地域	6,638,344	80.6
韓国・朝鮮	530,046	26.1	△12,136	△2.2	南米地域	253,199	12.5
フィリピン	202,974	10.0	△320	△0.2	上記以外の地域	142,113	6.9
ブラジル	190,581	9.4	△18,684	△8.9	総数	2,033,656	100
ベトナム	52,364	2.6	7,920	17.8			
上記以外	382,363	18.9	2,843	0.7			
総数	2,033,656	100	△13,693	△0.7			

(法務省入国管理局発行 平成25年度版 在留外国人統計より)

### ◆山形県国際交流センター外国人相談窓口◆

相談直通電話：023-646-8861

英語・日本語：火～土 10:00～17:00

中国語：火・金 10:00～14:00

韓国・朝鮮語：木・土 10:00～14:00

ポルトガル語：水 10:00～14:00

タガログ語：金 10:00～14:00

〒990-8580 山形市城南町一丁目1番1号霞城セントラル2階

山形県国際交流センター 外国人相談窓口 担当：岡部

電話：023-647-2560 FAX:023-646-8861

相談専用メール：airy-sou@jan.ne.jp

あなたの周りいっしょる、相談窓口を必要としている方に、「外国人のための相談窓口」があることを、伝えて下さい。